

# 上条 報告

Kamijo report

甲州市教育委員会  
☎32 - 5076

第152号

令和4年1月

新年あけましておめでとうございます！昨年も上条組の皆さんには様々な場面でお世話になり、またご協力いただき、誠にありがとうございました。本年も皆さんが御健勝で御多幸でありますよう、心からお祈り申し上げます。

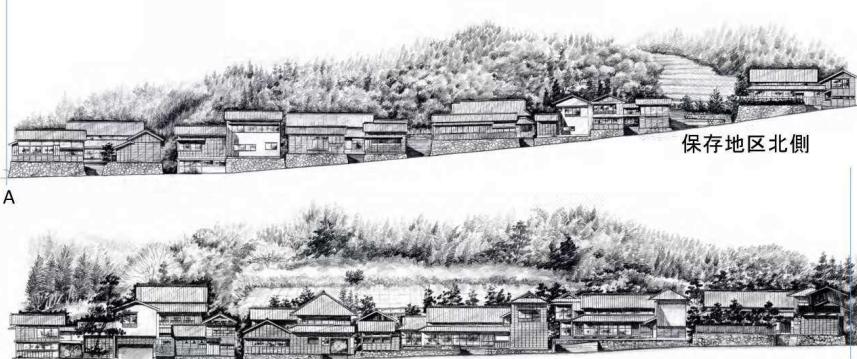


## 関東・甲信静ブロック重伝建協議会・研修会

12月16日（木）、17（金）と静岡県焼津市にて関東・甲信越静ブロックの重伝建協議会と研修会が開催されました。コロナウィルス感染症拡大に伴い、2年振りの開催となりました。今回、甲州市はWEBにて参加しました。

焼津市花沢地区は、平成26年に選定された重伝建地区で、焼津市北方の山間部の谷地にある江戸時代以来の山村集落です。焼津駅や東名インターから3km程とアクセスが良い場所にあります。現在は26世帯が暮らしており、空き家が出てもすぐに居住希望があるそうです。山へのハイキング道として人気があり、土日祝日を中心に観光客で賑わっています。特徴としては、敷地を確保するために大きな石垣を築いており、街道沿いに石垣と附属屋が面として連続した景観を形成しています。

立面図(花沢川(サコノヤ川)西側) (『焼津市花沢』より)



## 文化庁 上条視察

12月8日（水）に、文化庁の梅津調査官が上条を視察に来られました。調査官は、昨年度から伝建部門の担当になり、今回初めて上条に来られました。上条集落の甲州民家の建物を中心に集落内をご覧いただきました。伝統的建造物（特定物件）の状況、防火設備の確認と防災計画や現状変更、修理における助言をいただきました。



## 金剛山福蔵院の除夜の鐘

12月31日大晦日の夜、年が変わる元旦にかけて各地で「除夜の鐘」が鳴り響きます。上条伝統的建造物地区内に所在する金剛山福蔵院では、毎年、清雲住職、集落の皆さまの手によって、除夜の鐘がつかれています。ぜひ除夜の鐘の音に耳を澄ませながら、新しい年を迎えてみてはいかがでしょうか…。



■除夜の鐘

### 【金剛山福蔵院の除夜の鐘】

令和3年12月31日(金)午後11時30分頃～午前0時頃まで

金剛山福蔵院:甲州市塩山下小田原1005

～108個ある煩悩～

大晦日に除夜の鐘を108個つくのは、1人の人間につき108個の煩悩があるとされていることに由来します。鐘の正式名称は「梵鐘」という仏具で、梵鐘の音には苦しみや悩みを断ち切る力があると言われています。

## お家で学ぼう！上条集落 vol.5

「お家で学ぼう！上条集落」は、上条集落はもちろん！地域に関わる歴史や文化などわかりやすく解説していきます！vol.5は、道祖神祭りについてご紹介します。

主な道祖神祭りは、「オコヤ作り・オヤマ立て」「ドンド焼き」「オヤマ倒し（オヤマ転ばし）」の3要素からなっています。これは正月の歳神や盆の精霊を「迎える」「祀る」「送る」要素と一致するものです。道祖神祭りに先立ち、子どもたちが寄付金を集める「キッカンジ」を行う地域もあります。

神金地域の道祖神の多くは集落の中央部の辻に祀られています。御神体は丸石が多く、石で築いた土台の上に1個ないし数個置かれています。

オコヤは、道祖神の丸石を安置した土台石の全体を、スギやヒノキの葉で囲うようにして作られます。オヤマ（柳とも呼ばれます）は、色紙で作ったオコンブクロ（※）やキンチャクなどを竹の先に飾り付け、道祖神場に立てたもので、オヤマを立てない組もあります。

オコヤは市内全域でみられますが形状・材料は地区ごとに異なります。神金地区では神社の本殿を模した形でオコヤを作る組が多く、屋根に竹の垂木を付けたり、棟の左右にスギの葉で「シャチ」を置くことも共通しています。

なかでも下小田原区の上条組で作るオコヤは、竹の垂木や藁の軒付けがある屋根を別に作って載せるなど、より本殿を意識した造りとなっています。



■上条集落の道祖神のオコヤ



■塩山上塩後地区のオコヤとオヤマ

※市内一部の地域のオヤマには、オコンブクロという袋状の飾りが付けられています。



Vol. 4 では金剛山福蔵院について紹介しました。過去の「上条報告」はこちらからご覧ください♪